

アースウォール

珪藻土を表層紙に漉き込んだ、紙の良さと珪藻土の良さを合わせ持った紙壁紙です

機能性

サイクル消臭・撥水・吸放湿・通気性・防かび性

■特長

呼吸する 紙壁紙

珪藻土と紙素材の特性を活かして
調湿性と吸放湿性を発揮します。
爽やかな空気感がお部屋に広がります。

優れた消臭性能 エアファイン (サイクル消臭)

珪藻土と金属塩の触媒作用の
ダブル効果により、悪臭成分を吸着・消臭する
サイクル型消臭壁紙です。

テカリのない 上質な質感

珪藻土パウダーを配合した紙の表面に、
さらにシラス(火山堆積物)を塗布することで
テカリのない上質な質感をつくっています。

※アースウォールプレミアム(WEN9086~WEN9100)を除く

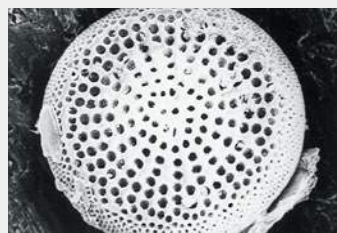
優れた 撥水性能

日常生活における軽微な水汚れを、素早く拭取ること
で内側への浸透を回避することができます。
ただし、汚れが付着してから長時間放置されると、
拭取ることができなくなりますのでご注意ください。

不燃 認定壁紙

法定不燃下地および法定不燃石膏ボードと
組み合わせることで「不燃」となります。

<珪藻土とは>



珪藻土は太古の植物プランクトンが
堆積して土となったもの。その呼び名
からも分かるように、珪酸(ガラス質)
を主体とする珪殻が主成分です。

和紙ウォールⅡ

自然素材を漉き込んだ味わい深い紙壁紙

機能性

撥水・通気性・防かび性

■特長

優れた通気性

通気性があるので、調湿石膏ボードとの組み合わせで吸放湿性能が発揮され、
結露が発生しにくくなります。

マットな質感

撥水樹脂にシラスパルーン(火山灰)を配合しており、土壁のように
落ち着いた空間をつくれます。

防汚紙ウォール

汚れに強く、メンテナンス性に優れた紙壁紙

機能性

汚れ防止・抗菌・表面強化(WEN9274を除く)・防かび性

■特長

汚れ防止壁紙

- 汚れが拭取りやすく、つきにくい。
- 一般の紙壁紙に比べ表面強度が強い。
- 美観を長い間維持できます。

抗菌壁紙

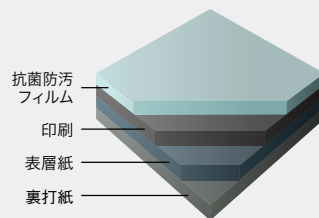
フィルムには抗菌性能を兼ね備えており、壁紙表面に付着した菌(大腸菌や黄色ブドウ球菌)の増殖を抑制します。

不燃 認定壁紙

法定不燃下地および法定不燃石膏ボードと組み合わせることで「不燃」となります。

「防汚紙ウォール」は表層紙に木材パルプと竹パルプ(10%以上)を配合した原紙を使用しておりましたが、2019年9月以降の生産品より、木材パルプ100%配合に変更いたします。このため、「防汚紙ウォール」は、非木材グリーン協会認定対象外となります。変更による品質の差はありません。

■構成概念図



表層に傷や汚れに強いエパール®フィルムを貼り合わせています。水廻りや子供部屋など衛生面に気をつけたい場所におすすめの壁紙です。

※エパール®は(株)クラレの登録商標です。

珪藻土・じゅらく

”じゅらく壁”の味わいある表情を壁紙で表現

機能性

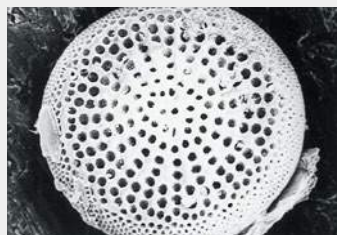
通気性・防かび性

■特長

優れた通気性

通気性があるので、調湿石膏ボードとの組み合わせで吸放湿性能が発揮され、結露が発生しにくくなります。

<珪藻土とは>



珪藻土は太古の植物プランクトンが堆積して土となったもの。その呼び名からも分かるように、珪酸(ガラス質)を主体とする珪殻が主成分です。

機能性説明



汚れ防止

汚れ防止は、フィルム加工を施したもので、所定の汚染物質の拭取りに対して「4級以上」の性能を有した壁紙に表示しています。

等級	判定基準
5級	汚れが残らない
4級	ほとんど汚れが残らない
3級	やや汚れが残る
2級	かなり汚れが残る
1級	汚れが濃く残る

■ 汚れ防止性能試験

汚染物	コーヒー	醤油	クレヨン	水性サインペン
除去剤	水	水	中性洗剤	中性洗剤
防汚紙ウォール	5級	5級	5級	4級
一般ビニル壁紙	2～4級	2～4級	1～3級	1～3級

【汚染物】 コーヒー、醤油、クレヨン、水性サインペン

【試験方法】 壁紙工業会制定「汚れ防止壁紙性能規定」による。各汚染物質を規定されたとおりに表面に付着させ24時間放置後所定の拭取り剤にて丁寧に拭取る。

【判定方法】 左表の判定基準にて、4級以上の性能を満たしたものが合格となる。

取扱い上のご注意

汚れ防止

- 表面のフィルムが破損すると、その部分は汚れ防止の機能が失われます。傷が付かないようご注意ください。汚れを拭取る場合は、柔らかい布や歯ブラシを使用してください。
- 壁紙に多量の水は厳禁です。水気を拭取る際は、固く絞った布を用いてください。ジョイントなどに染込んでしまうと、ハガレやシミの原因となりますのでご注意ください。
- タバコのヤニ汚れのように、長期間にわたって蓄積された汚れは完全に拭取することは困難です。
- 「汚れ防止」壁紙とは、汚れが付着しないものではありません。汚れが内部に浸透しないよう、表面にフィルム加工を施すことで汚れを落としやすくしたものです。



表面強化

表面強化は、特殊加工により耐傷付き性を付与したもので、所定の試験にて「4級以上」の性能を有した壁紙に表示しています。

等級	判定基準
5級	一見視で特に変化が見られない
4級	多少表面傷が見られるが、比較的大きな表面層の破れ等は見られない
3級	表面層の破れが明確に見える
2級	表面が破けて紙等の裏打材が明らかに見える（長さ1cm未満）
1級	表面が破けて紙等の裏打材が明らかに見える（長さ1cm以上）

■ 表面強化性能試験

	5回往復
表面強化	4～5級
一般ビニル壁紙	3級以下

【試験方法】

壁紙工業会制定「表面強化壁紙性能規定」による。所定の摩擦子（荷重200g）を取付け、試験片の上を5回往復させて傷付き程度を確認する。

選択上のご注意

- 表面強化は、表面のすり傷や引っ掻き傷を低減するものであり、傷付きを完全に防止することを保証したものではありません。鋭利なものや重量物などでは、傷付きや破れ等の発生することがありますのでご注意ください。

上記データは代表値であり、保証値ではありません。使用状況や気象条件などによって若干異なります。



エアファイン (サイクル消臭)

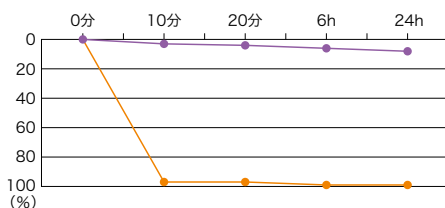
【サンプル名】 ブランク (空)、アースウォール

【試験方法】 試料20cm×20cm(裏、側面はシールド、有効面積400cm²)を5ℓテドラーバッグに入れ、既定濃度のガス3ℓを注入し、経時毎にガス検知管で濃度を測定した。

【結果】

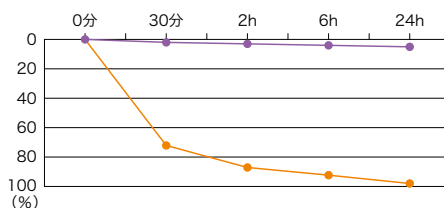
アンモニア (初期濃度200ppm)

	0分	10分	20分	6h	24h
■ ブランク (空)	0	3%	4%	6%	8%
■ アースウォール	0	98%	98%	99%	99%



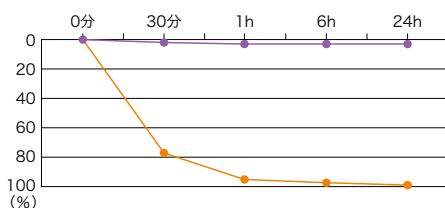
トリメチルアミン (初期濃度40ppm)

	0分	30分	2h	6h	24h
■ ブランク (空)	0	2%	3%	4%	5%
■ アースウォール	0	72%	87%	93%	98%



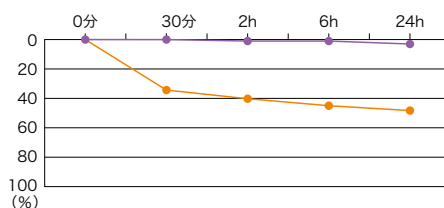
酢酸 (初期濃度100ppm)

	0分	30分	1h	6h	24h
■ ブランク (空)	0	2%	3%	3%	3%
■ アースウォール	0	77%	95%	98%	99%



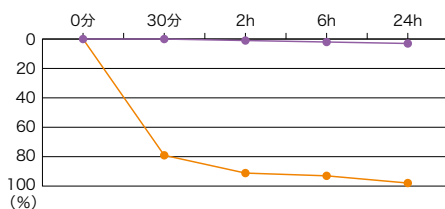
アセトアルデヒド (初期濃度80ppm)

	0分	30分	2h	6h	24h
■ ブランク (空)	0	0%	1%	1%	3%
■ アースウォール	0	34%	40%	45%	48%

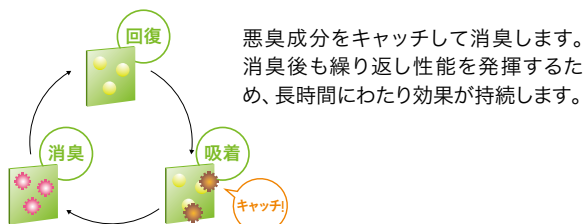


ホルムアルデヒド (初期濃度80ppm)

	0分	30分	2h	6h	24h
■ ブランク (空)	0	0%	1%	2%	3%
■ アースウォール	0	79%	91%	93%	98%



サイクル消臭のメカニズム



使用上のご注意

- 消臭性能は、臭いを完全になくすことを保証するものではありません。臭いの感じ方には個人差があり、環境によっても効果や持続期間に差が生じます。

上記データは代表値であり、保証値ではありません。使用状況や気象条件などによって若干異なります。

機能性説明

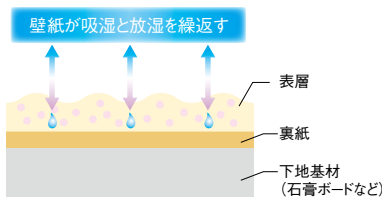


吸放湿

壁紙が室内の湿気をコントロール。結露やカビの発生を抑える効果があります。

- ◆壁紙が吸湿⇄放湿を繰り返し、お部屋の湿度を調整します。

吸放湿のメカニズム (イメージ図)

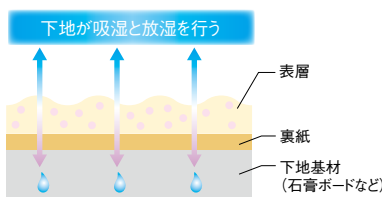


通気性

通気性に優れた壁紙です。下地の吸放湿性能を阻害しにくいので、調湿石膏ボードなどの下地では優れた吸放湿効果が発揮されます。

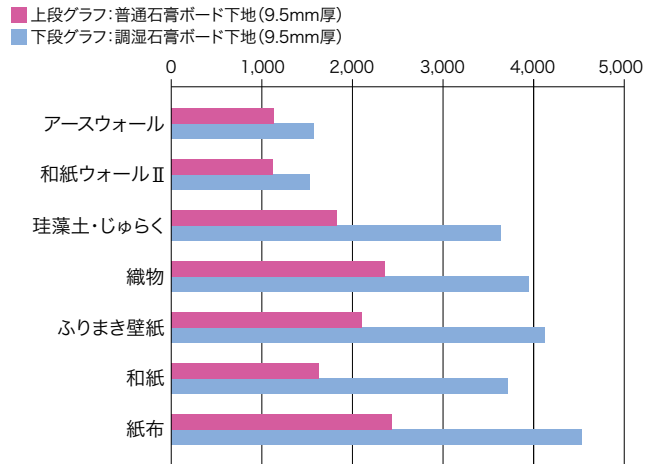
- ◆調湿石膏ボードなどの吸放湿性能が高い下地との組み合わせで、優れた吸放湿効果を発揮します。

通気性のメカニズム (イメージ図)



壁紙と下地とを組み合わせた吸放湿データ

■ 吸放湿量 <6畳間換算値 (g)>



■ 吸放湿データ

壁紙の機能性	下地との組み合わせ			
	吸放湿	通気性	吸放湿量 (g/m ²)	6畳間換算値 (g)
			普通石膏ボード下地 (9.5mm厚)	調湿石膏ボード下地 (9.5mm厚)
アースウォール	●	●	34.2	1,129
和紙ウォールII		●	33.9	1,117
珪藻土・じゅらく		●	55.2	1,822
織物		●	71.3	2,352
ふりまき壁紙		●	63.7	2,103
和紙		●	49.5	1,633
紙布		●	73.9	2,438

取扱い上のご注意

吸放湿・通気性

- 定期的に換気や通風に心掛け、室内の湿度調整にご配慮ください。湿度が高い状態が続くと、いつまでも壁紙や下地内部が湿った状態となり、かえってカビの発生につながるようになりますのでご注意ください。
- 「通気性」壁紙は水汚れを吸い込みやすいため、汚れを付着させないようにご注意ください。

上記データは代表値であり、保証値ではありません。使用状況や気象条件などによって若干異なります。



撥水

撥水は、壁紙に撥水性を付与しているため、水分をはじき、汚れにくくなっています。
日常生活における軽微な水性の汚れを、素早く拭取ることで内側への浸透を回避することができます。

撥水性写真(例) [付着直後]

■アースウォール



■和紙ウォールⅡ



■織物壁紙(クリーンファイバー撥水)



取扱い上のご注意

撥水

- 長時間にわたって付着し染み込んだ汚れは、落とすことができなくなりますのでご注意ください。
- 汚れが付着したら直ちにティッシュペーパー、乾布にて吸い込ませるように拭取ってください。
- 湿布で壁紙表面を強くこすらないでください。繊維の毛羽立ちや色落ち、ほつれ等が発生することがあります。



スムーズ

スムーズは、施工可能時間がやや長めに取れて、施工しやすい織物壁紙です。

- ◆張りおこしができるので、張付け位置の調整や柄合わせが容易です。
- ◆重ね切りの際、壁紙の耳部の除去が容易です。
- ◆織物壁紙の通気性を有しています。

取扱い上のご注意

スムーズ

- 施工可能時間内(約60分)で張上げてください。
- 確実に施工していただくため、糊の塗布量を多めにし、必要以上に付けだめしないでください。



ほつれ防止

ほつれ防止は、耳部カットの際(重ね切りやスリット時)に、糸のほつれが発生しにくい織物壁紙です。

取扱い上のご注意

ほつれ防止

- 壁紙表面を強くこすらないでください。
強くこするとほつれが発生することがあります。
- 織物壁紙専用のハケで丁寧に施工してください。

機能性説明



抗菌

抗菌は、抗菌剤によって壁紙表面に付着した菌（大腸菌や黄色ブドウ球菌）の増殖を抑制する壁紙です。試験後の生菌数が規定値である「 <0.63 」の性能を有しています。

■ 抗菌性能試験結果

菌 種	抗菌性	
	0時間	24時間
大腸菌	1.7×10^4	抗菌品 <0.63
		無加工品 6.9×10^5
黄色ブドウ球菌	1.2×10^4	抗菌品 <0.63
		無加工品 5.4×10^4

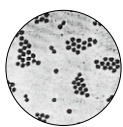
【試験方法】

壁紙工業会制定「抗菌壁紙性能規定」による。5cm×5cmの大きさのサンプルを、抗菌品と無加工品にて用意し、上から試験菌液を滴下した後フィルムをかぶせ、温度35℃、相対湿度90%で24時間培養し、培養後の生菌数を測定する。



大腸菌

本来は人や動物の腸管内に常在する有益な菌だが大腸以外の場所に侵入すると膀胱炎や髄膜炎を引き起こす。



黄色ブドウ球菌

典型的な化膿菌。食品中で増殖、毒素を生成。下痢、嘔吐、食中毒を引き起こす。

取扱い上のご注意

抗菌

- 大腸菌、黄色ブドウ球菌の菌種に対して、増殖を抑制する性能があります。但し、感染を直接阻止するものではありません。
- 壁紙表面が汚れに覆われると、十分な抗菌性能が発揮できない場合があります。



防かび性

壁紙表面のカビの繁殖を抑制します（所定の試験にて「0」の性能を有しています）。

■ 試験結果の表示方法

菌糸の発育	結果の表示
肉眼及び顕微鏡下でカビの発育は認められない	0
肉眼ではカビの発育が認められないが、顕微鏡下では明らかに確認できる	1
肉眼でカビの発育が認められ、発育部分の面積は試料の全面積の25%未満	2
肉眼でカビの発育が認められ、発育部分の面積は試料の全面積の25%以上～50%未満	3
菌糸はよく発育し、発育部分の面積は試料の全面積の50%以上	4
菌糸の発育は激しく、試料全面を覆っている	5

【試験方法】

壁紙工業会制定「防かび壁紙性能規定」による。カビを壁紙表面に付着させ、温度24±1℃または29±1℃、相対湿度90%以上で培養する。4週間後、試験片の表面に生じた菌糸の発育状態を肉眼と実体顕微鏡で観察する。

取扱い上のご注意

防かび性

- 防かび性壁紙だけでカビを防ぐことはできません。
- モルタル等の湿式下地や、石膏ボード直張り工法（GL工法等）およびパテ・シーラーを施した箇所は十分に乾燥させてから施工してください。特に防かび性が要求される場所では、糊に防かび剤を添加することが、より効果的です。
- カビは室内環境に大きく影響を受けます。室内の換気、湿度調整等にご注意ください。

上記データは代表値であり、保証値ではありません。使用状況や気象条件などによって若干異なります。

東リ・ピュアボンド（でんぷん系接着剤）原液使用タイプ

東リ・ピュアボンドは壁紙施工用接着剤(でんぷん糊)です。一般的な接着剤に比べて、合成樹脂系接着剤の配合量が多いため、ハガレやスキマの発生を抑えることができます。原液使用タイプのため、安定した仕上がりとなります。水で希釈せず、そのままご使用ください。

〔品番〕 WN 01
 〔規格〕 18kg/箱 (1箱で約80～100㎡の施工が可能)
 〔価格〕 3,700円/箱 (材料価格・税抜き価格)



項 目	規 格	備 考
外 観	淡白色ペースト状	
接着強さ	4N/25mm 以上	JIS A 6922
カビ抵抗性	0	
ホルムアルデヒド放散量	不検出 (0.1 mg/L 以下)	
凍結融解安定性	4N/25mm 以上	
pH	4～8	

取扱い上のご注意 東リ・ピュアボンド

- ①水で希釈せずそのままご使用ください。
- ②接着用以外には使用しないでください。
- ③5℃以下の低温環境下では、接着剤の性能が発揮できませんので使用しないでください。
- ④壁装専用のパテを用いて、下地を平滑に仕上げてから施工してください。
- ⑤石膏ボード以外の下地（モルタル・コンクリート下地、合板下地、金属下地等）に施工する場合は、壁装専用のシーラーや防カビ剤等を用いて、適切な下地処理を行ってから施工してください。
- ⑥下地が十分に乾燥していることを確認してから施工してください。
- ⑦壁紙への塗布後、壁紙や下地等の状況に応じて、適切なオープンタイムを取ってください。また、環境や施工条件に応じて塗布量を調整してください。
- ⑧ジョイント部よりはみ出したときや、他の内装材に付着したときは速やかに拭取ってください。
- ⑨施工時および施工終了後しばらくは急激な環境変化を与えないで、接着が安定するまで自然乾燥させてください。
- ⑩乾燥後は十分に換気を行ってください。

品質規格



SV規格 (Standard Value : 壁紙製品標準規格)

■ SV規格の概要

SV規格とは、壁紙工業会加盟会社が消費者の皆様にご安心してお使いいただける壁紙を提供することを目的として制定した自主規格です。

■ SV規格の設定趣旨

オゾン層の破壊や温暖化現象によって、近年地球の環境が悪くなっていると言われています。また、室内環境も住宅の気密化・高断熱化の影響や換気不足でホルムアルデヒドや揮発性有機化合物 (VOC) 等による汚染が問題になっています。壁紙工業会では、人々が安全に健康で快適な暮らしを営める環境作りに適合した壁紙製品の提供を目的にSV規格を制定しました。

制定にあたってはドイツ品質保証壁紙や日本工業規格JIS A 6921 (壁紙) の品質基準を充分に考慮し、より高い安全性を追求すべく独自の検討を加えて作成しました。

JIS規格 (JIS A 6921 : 2014)

日本の工業製品の品質安定を目的とした工業標準化法に基づき制定された国家規格です。

No.	試験項目			SV	JIS
1	退色性 (号)			4以上	4以上
2	摩擦色落ち度 (級)	乾燥摩擦色落ち度	縦	4以上	4以上
			横		
		湿潤摩擦色落ち度	縦	4以上	4以上
			横		
3	隠ぺい性 (級)			3以上	3以上
4	施工性			浮き及びはがれがあってはならない	浮き及びはがれがあってはならない
5	湿潤強度 (N/1.5cm)		縦	5.0以上	5.0以上
横					
6	ホルムアルデヒド放散量		(mg/ L)	0.2以下	0.2以下
7	重金属	砒素	(mg/kg)	5以下	－
		鉛	(mg/kg)	30以下	－
		カドミウム	(mg/kg)	5以下	－
		クロム	(mg/kg)	20以下	－
		水銀	(mg/kg)	2以下	－
8	塩化ビニルモノマー		(mg/kg)	0.1 以下	－
9	残留VOC	TVOC	(μg/g)	100以下	－
		TEX 芳香族	(μg/g)	10 以下	－

※TEXとは、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの略称です。

(使用原材料)

10	安定剤	鉛、カドミウム、有機スズを含有する安定剤は使用しない。	—
11	可塑剤	沸点が300℃以上の難揮発性可塑剤を使用する。ただしDBPは使用しない。	—
12	発泡剤	フルオロカーボン類は使用しない。	—
13	溶剤	TEX (トルエン、キシレン、エチルベンゼン) は使用しない。	—

商品特性について

<スタンダードタイプ>および<デラックスタイプ>の機能性・品質規格をまとめたものになります。

○：全点該当 ▲：該当あり 空欄：該当なし

		スタンダードタイプ			
		アースウォール	防汚紙ウォール	和紙ウォールⅡ	珪藻土・じゅらく
機能性	抗菌		○		
	汚れ防止		○		
	表面強化		▲		
	消臭	○			
	撥水	○		○	
	吸放湿	○			
	通気性	○		○	○
	防かび性	○	○	○	○
品質規格	JIS	○	○	▲	○
	SV	○	○	▲	○
	植物由来素材	○	○	○	

		デラックスタイプ					
		織物	紙布	和紙	さざなみ和紙	シルキーウォールⅡ	ふりまき壁紙
機能性	抗菌						
	汚れ防止						
	表面強化						
	消臭						
	撥水	▲		○			
	通気性	○	○	○			▲
	スムーズ	○					
	ほつれ防止	○	▲				
	防かび性		▲			○	○
品質規格	JIS	▲	○	○	○	○	○
	SV		▲		○	○	
	植物由来素材	○	○	○	○	○	

施工物性について

<スタンダードタイプ>および<デラックスタイプ>の施工物性を5段階評価にてまとめました。

単位：級

		スタンダードタイプ			
		アースウォール	防汚紙ウォール	和紙ウォールII	珪藻土・じゅらく
施工可能時間		3	4	3	2
目地目立ち		3	3～4	3	3～4
ピールアップ性		3～4	4	3	3
折れジワ		3	3～4	3	3
ローラーつぶれ		3～4	2～4	4～5	3
汚れ	コーヒー	2～3	5	2～3	2
	醤油	3～4	5	3～4	2～3
	クレヨン	2	5	2	1
	水性ペン	2	4	2	1

単位：級

		デラックスタイプ					
		織物	紙布	和紙	さざなみ和紙	シルキーウォールII	ふりまき壁紙
施工可能時間		2	2	2～3	2	3	2
目地目立ち		1～3	3	2～3	1	2～3	3～4
ピールアップ性		2～5	2～3	3～4	2	3	3
折れジワ		2～4	2～3	3	3	2～3	3
ローラーつぶれ		4～5	4～5	5	4	4	3
汚れ	コーヒー	1～2	1	1～2	2	3	1
	醤油	1～2	1	1～2	2	3	1
	クレヨン	1	1	1	1	2	1
	水性ペン	1	1	1	1	2	1

1～5級表示は、数値が大きいほど優れていることを表します。
各項目の評価の目安についてはP.12をご参照ください。

施工物性について（評価の目安）

■ 施工可能時間

5級	非常に長く取れる（目安：180分以上）
4級	長く取れる（目安：120分以上180分未満）
3級	ある程度取れる（目安：60分以上120分未満）
2級	やや短い（目安：30分以上 60分未満）
1級	短い（目安：30分未満）

■ 折れジワ（施工後の折りたたみ癖の残り具合）

5級	全く出ない
4級	ほとんど出ない
3級	わずかに出るおそれがある
2級	多少出やすい
1級	出やすい

■ 目地目立ち

5級	ほとんど目立たない
4級	わずかに目立つ
3級	やや目立つ
2級	多少目立つ
1級	明らかに目立つ

■ ローラーつぶれ（ジョイントローラーによる圧着）

5級	全くつぶれない
4級	ごくわずかにつぶれるが目立たない
3級	わずかにつぶれる
2級	多少つぶれる
1級	つぶれやすい

■ピールアップ性（張替え時の剥がしやすさ）

5級	あまり時間を費やさずにきれいに剥がすことができる
4級	やや時間を要するがきれいに剥がすことができる
3級	きれいに剥がすことができるが、ある程度の時間を要する
2級	剥がしにくく、かなりの時間を要する
1級	剥がれない

■ 汚れ防止（業界統一基準）※P.3参照

5級	汚れが残らない
4級	ほとんど汚れが残らない
3級	やや汚れが残る
2級	かなり汚れが残る
1級	汚れが濃く残る

施工上のご注意一覧

当サンプル帳には自然素材（紙、繊維など）を主体とした商品を収録しています。

これらは、一般ビニル壁紙に比べて、下地調整や材料を取扱う際に十分な配慮が必要となるため、施工費が割高となります。
なお、施工の際には、必ず商品に同梱している「施工上のお願い」資料を併せてご確認くださいませようお願いいたします。

共通事項

施工注意内容	理由
下地は平滑に仕上げてください。 また、ネジ・クギ類にはサビ止めをしてください。	不陸や変色を発生させる恐れがあります。
モルタルや合板下地等は、必ずシーラー処理を行ってください。	アクが発生し、壁紙を変色させることがあります。
モルタル等の湿式下地や、石膏ボードの石膏系接着剤による直張り工法（GL工法等）およびパテ、シーラーを施した箇所は十分に乾燥させてください。	湿気を帯びていると壁紙の変色やカビの発生を招くことがあります。
「東リ・ビュアボンド（原液使用タイプ）」をご使用ください。 その他の接着剤を使用する際は、必ず糊にエチレン酢ビ系接着剤を混入したものを、希釈率はそれぞれの指定配合を守ってください。	ハガレ等の発生することがあります。
壁紙をきつきたんだり、湾曲部を強く押さえないようにしてください。 必ず大きいたたみ、上積みは避けてください。	折れジワが付くことがあります。
適切なオープンタイムを取り、壁紙が柔らかくなってから張り出してください（オープンタイムは商品別施工上のご注意をご参照ください）。 また、ハケでエア抜きを充分に行ってください。	フクレや突上げが発生する恐れがあります。
なで付けは丁寧に行ってください。また、ローラーは必ず広巾のウレタン製のものを、丁寧に圧着してください。	ローラーを強くかけたり、表面を強くこすると、光沢が変わって見えることがあります。
石膏ボード下地で重ね切りを行う場合は、石膏ボードの原紙まで切込まないようにご注意ください。下敷きテープをご使用してください。	目地スキの原因となります。
表面に糊が付かないようご注意ください。やむを得ず、表面に付着した場合は、清水で絞った布等で拭取ったあと、必ずきれいな布で乾拭きしてください（商品によっては色落ち等の発生することがあります）。	糊の拭取りが不十分な場合は、光沢が変わって見えたり、後日変色することがあります。
施工後は接着が安定するまで自然乾燥させてください。 窓を開けて風通しを良くしたり、冷暖房などによる急激な室温の変化は避けてください。	目地スキ、ハガレ等の原因になります。
粘着テープを壁紙表面に貼付けないでください。	壁紙の変色や破損を招きます。

商品別施工上のご注意

	商 品 名	品 番	オープンタイム ():冬場または 吸水性の低い下地	施工注意および使用上の注意
①	アースウォール	WEN9001 ～9100	15～30分 (30～60分)	●ボンド入りの接着剤を使用し、塗布量は140～160g/m²を均一に塗布してください。 ●糊の付けだめを避けてください。 ●オープンタイムは温度や湿度に左右されやすいため、現場環境にあわせて調整してください。 ●通常の紙壁紙に比べ、カッターの刃が傷みやすいため、こまめにカッターの刃を取替えてください。 ●合成皮革等の塩ビ製品と接触させないでください。塩ビに含まれる可塑剤により壁紙が変質することがあります。
②	防汚紙ウォール	WEN9201 ～9288	15～30分 (30～60分)	●コーナートープは穴あきタイプのプラスチック製のものをご使用ください。貼付ける際は、パテを用いて行なうか、粘着テープ付きのものをご使用ください。 ●穴あきタイプ以外では施工糊が乾燥せず、壁紙の変色・ハガレ・カビの発生を招くことがあります。ただし、穴あきタイプを使用する場合でも使用環境や施工状況によっては、壁紙の変色・ハガレ・カビが発生する場合があります。あらかじめご了承ください。 ●ボンド入りの接着剤を使用し、塗布量は140～160g/m²を均一に塗布してください。 ●糊の付けだめを避けてください。 ●オープンタイムは温度や湿度に左右されやすいため、現場環境にあわせて調整してください。 ●折れジワの発生を防ぐため、糊付け時は大ききたため、上積みは避けてください。 ●表面に付着した糊は、清水で絞った布等で拭き取った後、必ずきれいな布で乾拭きしてください。
③	和紙ウォールⅡ	WEN9301 ～9308	15～30分 (30～60分)	●ボンド入りの接着剤を使用し、塗布量は140～160g/m²を均一に塗布してください。 ●糊の付けだめを避けてください。 ●オープンタイムは温度や湿度に左右されやすいため、現場環境にあわせて調整してください。 ●合成皮革等の塩ビ製品と接触させないでください。塩ビに含まれる可塑剤により壁紙が変質することがあります。
④	珪藻土・じゅらく	WEN9401 ～9424	10～20分 (20～30分)	●ボンド入りの接着剤を使用し、塗布量は140～160g/m²を均一に塗布してください。 ●オープンタイムは温度や湿度に左右されやすいため、現場環境にあわせて調整してください。 ●通気性が高く、糊の乾燥が早いので付けだめしないでください。アイハギが発生することがあります。 ●表面を強くこすらないでください。粒子の脱落が発生することがあります。 ●通常の紙壁紙に比べ、カッターの刃が傷みやすいため、こまめにカッターの刃を取替えてください。
⑤	織 物 紙 布	WEN9501 ～9521 WEN9601 ～9612	10～15分 (15～30分)	●ボンド入りの接着剤を使用し、塗布量は140～160g/m²を均一に塗布してください。 ●オープンタイムは温度や湿度に左右されやすいため、現場環境にあわせて調整してください。 ●通気性が高く、糊の乾燥が早いので付けだめしないでください。アイハギが発生することがあります。 ●柔らかめの刷毛を用い、表面を強くこすらないでください。ほつれが発生することがあります。
⑥	和 紙	WEN9701 ～9706	10～15分 (15～30分)	●意匠表現上壁紙の光沢が高く、壁紙表面の凹凸がほとんどない商品のため、丹念にパテ処理を行い、特に下地を平滑に仕上げてください。 ●ボンド入りの接着剤を使用し、塗布量は140～160g/m²を均一に塗布してください。 ●オープンタイムは温度や湿度に左右されやすいため、現場環境にあわせて調整してください。 ●通気性が高く、糊の乾燥が早いので付けだめしないでください。アイハギが発生することがあります。 ●柔らかめの刷毛を用い、表面を強くこすらないでください。表面の毛羽立ちや色落ちが発生することがあります。 ●素材の特性上、ジョイント部で色差が発生することがありますので、リパース張りをおすすめします。商品の特性としてご了承ください。 ●合成皮革等の塩ビ製品と接触させないでください。塩ビに含まれる可塑剤により壁紙が変質することがあります。
⑦	さざなみ和紙	WEN9707 ～9709	15～30分 (30～60分)	●ボンド入りの接着剤を使用し、塗布量は140～160g/m²を均一に塗布してください。 ●糊の付けだめを避けてください。 ●オープンタイムは温度や湿度に左右されやすいため、現場環境にあわせて調整してください。 ●柔らかめの刷毛を用い、表面を強くこすらないでください。ほつれが発生することがあります。 ●ヨコ柄のため、ジョイント部が目立ちます。柄の特性上、避けることができない現象ですのでご了承ください。 ●合成皮革等の塩ビ製品と接触させないでください。塩ビに含まれる可塑剤により壁紙が変質することがあります。
⑧	シルキーウォールⅡ	WEN9710 ～9714	15～30分 (30～60分)	●意匠表現上壁紙の光沢が高く、壁紙表面の凹凸がほとんどない商品のため、丹念にパテ処理を行い、特に下地を平滑に仕上げてください。 ●ボンド入りの接着剤を使用し、塗布量は140～160g/m²を均一に塗布してください。 ●糊の付けだめを避けてください。 ●オープンタイムは温度や湿度に左右されやすいため、現場環境にあわせて調整してください。 ●柔らかめの刷毛を用い、表面を強くこすらないでください。表面の毛羽立ちやほつれが発生することがあります。 ●素材の特性上、ジョイント部で色差が発生することがありますので、リパース張りをおすすめします。商品の特性としてご了承ください。 ●合成皮革等の塩ビ製品と接触させないでください。塩ビに含まれる可塑剤により壁紙が変質することがあります。
⑨	ふりまき壁紙	WEN9801 ～9813	15～30分 (30～60分)	●ボンド入りの接着剤を使用し、塗布量は140～160g/m²を均一に塗布してください。 ●糊の付けだめを避けてください。 ●オープンタイムは温度や湿度に左右されやすいため、現場環境にあわせて調整してください。 ●柔らかめの刷毛を用い、表面を強くこすらないでください。表面の粒子が脱落しやすい商品ですので特性としてご了承ください。 ●ジョイント部カットの際は、定規をしっかりと押さえてカッターの刃が斜めに入らないようにしてください。 ●通常の紙壁紙に比べ、カッターの刃が傷みやすいため、こまめにカッターの刃を取替えてください。 ●なで付けやローラーがけは、表面が傷ついたり粒子が脱落しやすいよう丁寧にしてください。 ●柄の特性上、ジョイントが目立つことがあります。

施工のポイント

参考資料：壁装施工団体協議会発行「素晴らしい壁紙に素晴らしい技術」

下地の調整について

● 下地の平滑化

以下の商品は、下地を平滑にするための下地調整に手間がかかるため、施工費が割増しになります。

薄手のもの

シボ(凹凸)の浅いもの

光沢のあるもの

表面強化品

不燃認定壁紙

前工程の問題が残っていてそのまま仕上げられない場合、現場管理者に申し出て改善した上で施工する必要があります。

● 下地の調整

コンクリートやモルタル下地は十分に乾燥させてください(水分計での含水率8～11%以下)。

石膏ボードのGL工法の場合も下地を十分に乾燥させてください(水分計での含水率11%以下)。

コンクリートやモルタルの表面に水分がくるとすぐにアルカリ性を示します。

また、冬場は表面が粉をふいた状態になることがありますので、シーラーを適切に塗布することが欠かせない条件となります。

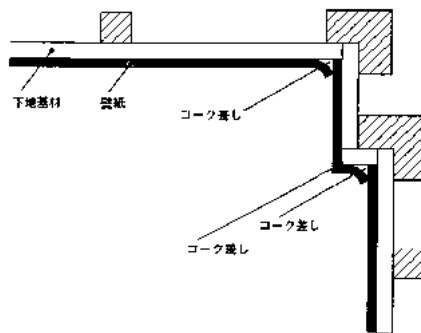
コーキング処理について

● コーキング剤の用途

- ① 下地の隙間に充填して隙間を埋める。
- ② 天井と壁面の見切りの接着補強に壁紙の裏面に差す。
- ③ ドア枠、窓枠廻りなどの見切りに、接着補強のため壁紙の裏面に差す。
- ④ 入隅のコーナー部分の接着補強のため壁紙の裏面に差す。

コーキング剤は、元々隙間を埋めるためのアクリル系樹脂であり、粘着性を保っていることで下地材の動きにも耐えられる特長を有しています。

但し、壁紙の表面に用いた場合、ホコリ等が付着し変色することがありますのでご注意ください。



捨て糊について

捨て糊は、塗布した接着剤だけでは不十分であり、接着に不安がある場合、または要部に補強の接着剤を利かしてしっかりと押さえ込む必要がある場合に用いるものです。

捨て糊を必要とする場合

- ① 下地がシナベニヤなど樹脂分があり接着を妨げる要素がある場合、また、プリント合板などでんぶん系接着剤だけでは接着し難い場合などは、表面をサンダーで荒らし、シーラー塗布、捨て糊するなどが効果的です。
- ② 表面強化、汚れ防止等の機能性壁紙や薄手の商品で材料が硬い場合、ジョイント部、入隅、出隅の施工に捨て糊を必要とする場合があります。

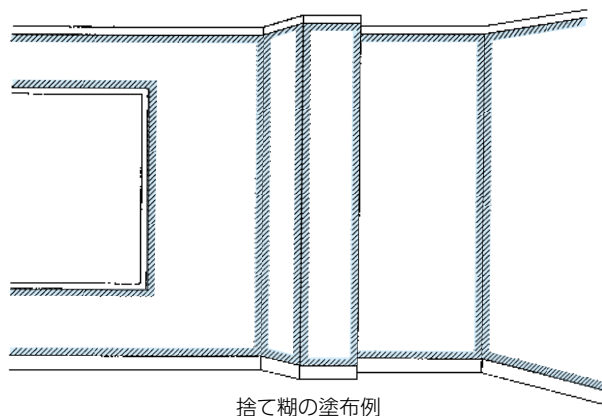
捨て糊用接着

現場の事情（下地、壁紙）に応じて、下記の合成樹脂エマルジョンの原液をそのまま、あるいはそれにでんぷん系接着剤を適切に配合するなどしたものを用います。

①エチレン・酢酸ビニル樹脂エマルジョン

②酢酸ビニル樹脂エマルジョン

③アクリル樹脂エマルジョン



たたみジワについて

たたみジワの問題点

たたみジワが出やすい壁紙は、汚れ防止、表面強化などの機能性壁紙や、薄手のもの、シボの浅いものなどで、これらの取扱いは注意が必要です。

たたみジワを防ぐ方法

①重ねる枚数を制限する

たたみの折り曲げをゆるやかにし、重ねも2～3枚以内とします。

②壁紙を巻く

壁紙に糊付けした後、壁紙をたたまないでへりにカットテープ（養生用プラスチックテープ）を付け、頭としりをこのテープを挟んで合わせてフワッと置いてください。重ねをしないでください。

③壁紙をプラスチックの袋などに入れる

糊付け後の壁紙は、プラスチックの袋や容器に入れて乾燥があまり早く進まないようにしてオープンタイムを取るのが最良の方法です。

ジョイント工法について

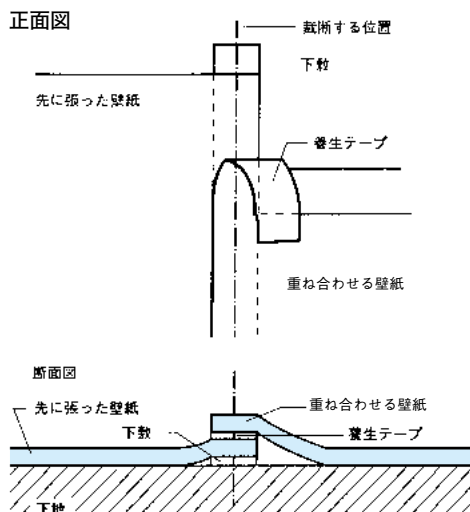
ジョイントは基本的に重ね切り（合裁ち）が適しており、以下にジョイント工法についてのポイントを列挙します。

・下敷きテープとカットテープ

・カッターの選択

薄手の壁紙は薄い刃のカッターが適しています。

石膏ボードの表層紙まで切込むと、目際の発生する原因となりますのでご注意ください。



施工のポイント

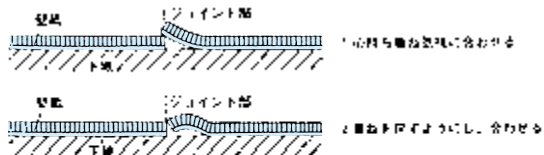
・定規の選択

合裁ちする際の定規は、原則として合裁ち用の専用定規を用いるようにします。

裁断時の押さえをしっかりとすること、裁断線を真直ぐにすることは美しい仕上げの基本であり、定規の選択は大切になります。

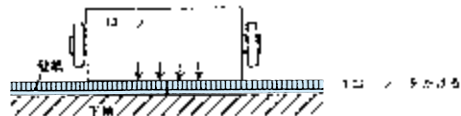
・目隙を防ぐ張り方

図のように壁紙のヘリが心持ち重なる程度に長めに裁ち、押し合う形となるようにしてローラーで圧着すると、壁紙が乾燥・収縮した際にジョイント部分がちょうどピタッと合った状態で収まりますので、目隙が起るのを防ぐことができます。



・ローラー掛け、撫で付け

ジョイント部分はローラー等で良く押さえておくことが大切ですが、強くかけると艶が出る等の問題が起ることもあります。壁紙施工用ローラーはたくさんの種類が市販されていますので、状況に合わせて使い分けてください。



- ・PCローラー = 硬く圧が強くかけられる。
- ・ゴムローラー = 柔らかく押さえたいとき、発泡が潰れる恐れがある場合など。
- ・ウレタンローラー = ソフトに押さえたいとき。

はぎ合わせの注意事項

壁紙の左右色・艶違いを防ぐには、張り進む途中でのチェック、または2～3枚張り進んだ時点でのチェックを少し離れた位置から目視にて行い、問題がある場合はジョイントはぎ合わせに問題ないことを確認し、弊社営業員まで連絡をお願いします。

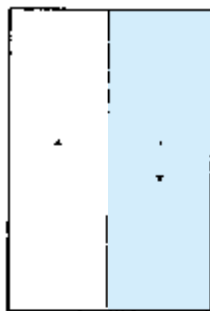


図 天地逆さま(方向違い)に張り合わせない

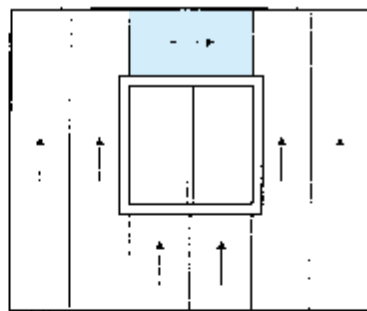


図 一部を横張りにするなど、方向違いに張り合わせない

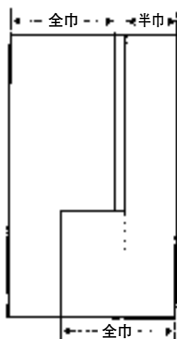


図 ジョイントは壁紙の端部分同士で合わせ、端部と中央部では、はぎ合わせない

壁紙のメンテナンスについて（汚れが付着した時の除去方法）

壁紙の種類や汚れの種類によって若干の違いがあります。下表を参照してください。

なお、目地部やコーナーの見切り部付近を拭取る場合は、以下にご注意ください。

水やアルコールを含ませた湿布を用いる場合、絞りが弱いと目地部から染み込み、シミとなって残ってしまいます。
必ず固く絞ってご使用ください。

①汚れ防止タイプ（防汚紙ウォール）

汚れの種類	除去方法
水系の汚れ (ジュース・コーヒー等)	付着直後であれば、乾拭きにて除去してください。 乾燥後であれば、以下のどちらかの方法にて拭取ってください。 ① 清水で固く絞った布で拭取る。 ② 薄めた中性洗剤を適量含ませた布で拭取ってから、清水で固く絞った湿布で、中性洗剤を残さないように拭取る。 なお、どちらの場合も、仕上げに乾いた布で乾拭きしてください。
手あか	薄めた中性洗剤を適量含ませた布で拭取ってから、清水で固く絞った湿布で、中性洗剤を残さないように拭取り、仕上げに乾いた布で乾拭きしてください。 または、消しゴムを用いて表面を軽くこすって汚れを落としてください。
クレヨン 水性ペン ボールペン	薄めた中性洗剤を適量含ませた布で拭取ってから、清水で固く絞った湿布で、中性洗剤を残さないように拭取り、仕上げに乾いた布で乾拭きしてください。 または、アルコール（エタノールなど）を含ませた湿布や脱脂綿で丁寧に拭取ってください。
油性マジック	アルコール（エタノールなど）を含ませた脱脂綿等で丁寧に拭取ってください。
その他	薄めた中性洗剤を適量含ませた布で拭取ってから、清水で固く絞った湿布で、中性洗剤を残さないように拭取り、仕上げに乾いた布で乾拭きしてください。 拭取れない場合は、アルコール（エタノールなど）を含ませた脱脂綿等で丁寧に拭取ってください。 ※汚れの種類や放置時間によって完全に除去できないことがあります。

②その他全般

表面を強くこすると、繊維（紙、糸など）の毛羽立ちやほつれ、色落ち、粒子の脱落など発生することがあります。

こすらず叩き取るようにして、徐々に汚れを吸い取るようにしてください。

汚れの種類や放置時間によって、完全に除去できないことがあります。

汚れの種類	除去方法
水系の汚れ (ジュース・コーヒー等)	表面に付着してすぐの状態（汚れをはじいている）であれば、直ちに乾布で汚れを吸い取るように拭取ってください。 中に染み込んだ場合であれば、清水で固く絞った湿布で軽く叩くようにすると汚れが軽減できます。 仕上げに乾布で乾拭きしてください。
手あか	清水で固く絞った湿布で軽く叩くようにして落としてください。 仕上げに乾布で乾拭きしてください。 または、消しゴムを用いて表面を軽くこすって汚れを落としてください。
その他	清水で固く絞った湿布で軽く叩くようにして落としてください。 仕上げに乾布で乾拭きしてください。

防火認定制度について

防火ラベルについて

(1) 防火製品表示ラベルについて

国土交通省より防火認定を取得し、防火仕上げに適用できる壁紙には、製品の外装面に「防火製品表示ラベル」が貼付けされます。また、ラベルには防火性能や認定番号、その他の認定に関する情報が記載されています。

■ 防火製品表示ラベルの種類

紙系壁紙	繊維系壁紙	塩化ビニル樹脂系壁紙	プラスチック系壁紙	無機質系壁紙	その他
------	-------	------------	-----------	--------	-----

■ 材料の区分、種類、および一般材料名称

「防火壁装材料・品質管理システム」では「材料の区分」「種類」の分類項目を設けて、防火壁装材料の管理に活用しています。なお、「材料の区分」の構成内容は上記の「防火製品表示ラベル」に準じて設定し、また「種類」は製法や素材構成、化粧層の違いにより区分しました。

材料の区分・種類・一般材料名称の一覧

材料区分	紙系壁紙	繊維系壁紙	塩化ビニル樹脂系壁紙	プラスチック系壁紙	無機質系壁紙	その他
種類	加工紙 紙布 和紙	織物 植毛 化学繊維織物 化学繊維植毛 化学繊維不織布 絹織物	塩化ビニル	プラスチック オレフィン	水酸化 アルミニウム紙 骨材 ガラス繊維	合成紙 どんす張り 塗装仕上げ

(2) 防火施工管理ラベルについて

認定条件に基づいて壁紙と下地基材を組み合わせ、かつ日本壁装協会制定の「防火壁装材料の標準施工法」により仕上げた場合、仕上げ箇所へは然るべき防火性能を表す「防火施工管理ラベル」を表示することができます。

なお、防火施工管理ラベルは、表示資格を有した「施工管理者」により貼付けされます。

■ 防火施工管理ラベルの種類

国土交通大臣の認定を取得した防火壁装材料仕上げです。 認定番号NM- 不燃材料 (基材との組み合わせによる) 日本壁装協会 壁装施工団体協議会 施工管理者 (赤色)	国土交通大臣の認定を取得した防火壁装材料仕上げです。 認定番号QM- 準不燃材料 (基材との組み合わせによる) 日本壁装協会 壁装施工団体協議会 施工管理者 (緑色)	国土交通大臣の認定を取得した防火壁装材料仕上げです。 認定番号RM- 難燃材料 (基材との組み合わせによる) 日本壁装協会 壁装施工団体協議会 施工管理者 (青色)
---	--	---

■ 防火施工管理ラベルの様式

防火施工管理ラベルは2タイプの様式で運用されます。日本壁装協会会員である施工団体所属の施工者へ委託する場合は、「委託施工用」を、また、塗装仕上げやどんす張りなど固有の施工法で、認定取得者自らの責任で施工する場合は、「責任施工用」を使用します。なお、防火施工管理ラベルは日本壁装協会にて作成され、会員の施工団体を通じて各施工者へ配布されます。また、仕上げ箇所へ表示されるラベルは認定番号の他に、必ず「施工管理者名」の記載がなければ、無効となりますのでご注意ください。

防火認定番号について

認定番号は不燃の防火性能を有するものは「NM」、準不燃は「QM」、難燃は「RM」の記号がそれぞれ頭に付いた4桁の番号となります。

認定番号
不燃 NM-〇〇〇〇
準不燃 QM-〇〇〇〇
難燃 RM-〇〇〇〇

NM-「Noncombustible Material」……燃えにくい材料

QM-「Quasi Noncombustible Material」……類似(準)の燃えにくい材料

RM-「Fire Retardant Material」……火を遅らせる材料

防火壁装材料認定共同管理の運用開始について

一般社団法人日本壁装協会は、新たに防火壁装材料の認定共同管理を開始しています。

協会として新たに認定を取得することにより、壁装業界として責任を持って認定品を運用管理し、

防火壁装材料の認定仕様に関するコンプライアンス向上を目的としています。

今後、価格表に掲載している防火認定番号及び防火種別が見本帳有効期限内に変更となる場合がありますので、日本壁装協会の「壁紙品質情報検索システム」で最新の情報をご確認ください。

<http://www.wacoa.jp/Hekisou/>

Q- 日本壁装協会

検索



■ 防火性能一覧表

壁紙の防火種別と施工する下地の種類および施工方法との組み合わせによって得られる防火性能をまとめたものです。

防火種別	防火性能						
	施工方法／直張り				施工方法／下張り		
	不燃下地	不燃石膏ボード	準不燃下地	金属下地	不燃下地	不燃石膏ボード	準不燃下地
1-1	不燃	不燃	準不燃	準不燃	—	—	—
1-2	不燃	準不燃	準不燃	難燃	準不燃	難燃	難燃
1-3	不燃	準不燃	準不燃	—	—	—	—
1-4	不燃	不燃	準不燃	不燃	—	—	—
1-5	不燃	不燃	準不燃	難燃	—	—	—
1-6	不燃	不燃	準不燃	—	—	—	—
1-7	不燃	準不燃	準不燃	不燃	—	—	—
1-8	不燃	準不燃	準不燃	準不燃	—	—	—
2-1	準不燃	準不燃	準不燃	準不燃	—	—	—
2-2	準不燃	準不燃	準不燃	難燃	難燃	難燃	難燃
2-3	準不燃	準不燃	準不燃	—	—	—	—
2-4	準不燃	準不燃	準不燃	難燃	—	—	—
2-5	準不燃	準不燃	準不燃	—	難燃	難燃	難燃
2-6	準不燃	準不燃	—	—	—	—	—
2-7	準不燃	準不燃	—	不燃	—	—	—
3-1	不燃	難燃	難燃	—	—	—	—
3-2	不燃	不燃	難燃	—	—	—	—
3-3	不燃	準不燃	難燃	—	—	—	—
4-1	準不燃	難燃	難燃	—	—	—	—
4-2	準不燃	準不燃	難燃	—	—	—	—
5-1	難燃	難燃	難燃	—	—	—	—
6-1	不燃	不燃	—	—	—	—	—
6-2	—	—	—	不燃	—	—	—
6-3	不燃	不燃	—	不燃	—	—	—
6-4	不燃	—	—	不燃	—	—	—
6-5	不燃	—	—	—	—	—	—

● 防火認定について

防火認定商品は、施工現場において基材となる下地材ごとに日本壁装協会制定による「防火壁装材料の施工共通仕様」によって仕上げた場合、国土交通大臣より防火材料として認定されます。ただし、通則の特定壁紙については特有の施工方法によるものもあります。

● 防火種別について

防火種別は日本壁装協会が自主管理上の分類のために設定した番号です。販売店が見本帳等における表記を識別する便宜を図るため、掲示しております。この種別は、認定番号等の公的な表示ではありませんのでご注意ください。また種別は随時追加・変更がなされております。必ず最新の情報をご確認ください。

● 施工管理について

施工管理は、「申請者が直接施工を行う責任施工」または「申請者が責任をもって施工者を指導する」のいずれかでを行います。

■ 防火材料について

防火材料とは、不燃・準不燃・難燃の性能区分に応じて、国土交通大臣が定めた材料もしくは認定した材料のことです。国土交通大臣が定めた材料とは、建築基準法令等に基づいて告示に具体的な名称をあげて防火性能があるとされた材料（下記）です。

また、国土交通大臣が認定した材料とは、法令等に基づいて国土交通省の定めた指定性能評価機関で審査し、防火性能があると認められた材料のことです。

これが国土交通大臣認定の防火壁装材料で、認定書が交付されます。

防火壁装材料は、壁紙単体ではなく、下地との組み合わせ、いわゆる施工後に始めて性能が決定される材料です。

下地の性能によっては同じ壁紙でも防火性能が異なる場合があります。

防火壁装材料としての防火性能確認は、告示に示された防火材料との組み合わせで行われています。

したがって、下記告示に表記のない、個別に防火認定を取得した下地に施工した場合は、基本的には防火壁装材料として認められません。

1) 不燃材料（建設省告示第1400号ならびに国土交通省告示第1178号による改正）

コンクリート、れんが、瓦、陶磁器質タイル、繊維強化セメント板、ガラス繊維混入セメント（厚さ3mm以上）、繊維混入ケイ酸カルシウム板（厚さ5mm以上）、鉄鋼、アルミニウム、金属板、ガラス、モルタル、しっくい、石、せっこうボード（厚さ12mm以上）、ロックウール、グラスウール板

2) 準不燃材料（建設省告示1401号 平成12年5月30日）

不燃材料、せっこうボード（厚さ9mm以上）、木毛セメント板（厚さ15mm以上）、硬質木片セメント板（厚さ9mm以上、かさ比重0.9以上）、木片セメント板（厚さ30mm以上、かさ比重0.5以上）、パルプセメント板（厚さ6mm以上）

不明な点は建築主事にご確認ください。

内装制限一覧表

■ 内装制限

建築基準法施行令第128条の3の2、第128条の4、第129条及び第112条、第128条の3等の内装制限に関する部分を要約一覧表としたもの

特殊建築物等			対象となる規模等				制 限	
			耐火建築物	準耐火建築物(イ)	準耐火建築物	その他建築物	居 室 等	通路・階段等
特殊建築物	1	劇場、映画館、演芸場、観覧場、公会堂、集会場	客席の床面積の合計が400㎡以上のもの	客席の床面積の合計が100㎡以上のもの			壁・難燃以上 (床面上1.2m以下除く) 天井・難燃以上 (3階以上に居室を有するものは準不燃以上) (※2)	壁・天井とも 準不燃以上 (※2)
	2	病院、診療所(患者の収容施設があるものに限る)、ホテル、旅館、下宿、共同住宅、寄宿舎、児童福祉施設等(幼保連携型認定こども園を含む。以下同じ)、その他これらに類するもので政令に定めるもの	3階以上の部分の床面積の合計が300㎡以上のもの[100㎡(共同住宅は200㎡)以内に防火区画されたものは除く]	2階の部分の床面積の合計が300㎡以上(病院、診療所については、その部分に患者の収容施設がある場合に限る)のもの	床面積の合計が200㎡以上のもの			
	3	百貨店、マーケット、展示場、キャバレー、カフェ、ナイトクラブ、バー、ダンスホール、遊技場、公衆浴場、待合、料理店、飲食店又は物品販売業を営む店舗(床面積10㎡以内は除く)	3階以上の部分の床面積の合計が1,000㎡以上のもの	2階の部分の床面積の合計が500㎡以上のもの	床面積の合計が200㎡以上のもの			
	4	自動車車庫、自動車修理工場、映画スタジオ又はテレビスタジオ	全 部			壁・天井とも 準不燃以上 (※2)	壁・天井とも 準不燃以上 (※2)	
	5	地下又は地下工作物内に上記1、2、3の用途の居室を有するもの						
建築物の規模	6	階数が3以上で延べ面積が500㎡を超えるもの		〔学校等(※1)を除く。耐火建築物又は準耐火建築物(イ)の高さ31m以下で100㎡以内に防火区画された特殊建築物に供さない居室を除く。本表2欄の高さ31m以下の部分には適用しない〕			難燃以上壁 (床面上1.2m以下除く) 天井とも (※2)	壁・天井とも 準不燃以上 (※2)
階数が2で延べ面積が1,000㎡を超えるもの								
階数が1で延べ面積が3,000㎡を超えるもの								
無窓	7	窓その他の開口部を有しない居室(天井の高さ6mを超えるものを除く)	床面積が50㎡を超える居室で窓等開放できる部分(天井から下方80cm以内の部分に限る)の面積の合計が床面積の1/50未満のもの			壁・天井とも 準不燃以上 (※2)	壁・天井とも 準不燃以上 (※2)	
			温湿度調整を必要とする作業室等(法第28条第1項)					
調理室等	8	調理室、浴室その他の室で、かまど、こんろ、その他火を使用する設備又は器具を設けたもの	主要構造部を耐火構造としたものを除く	階数2以上の住宅(事務所、店舗兼用を含む)の最上階以外の階に火を使う設備を設けたもの			壁・天井とも 準不燃以上 (※2)	
			住宅以外の建築物の火を使う設備を設けたもの					

<除外規定>上表各欄の制限は、スプリンクラー等自動式のものと及び令126条の3の規定に適合する排煙設備を設けた部分には適用されません。

防火区画	9	建築物の11階以上の部分	100㎡以内に防火区画	2 ス プ リ ン ク ラ ー 等 自 動 式 の 火 災 報 知 機 を 設 置 す べ き 区 画 は	壁・天井とも準不燃以上	壁・床面上1.2m以下除く
		200㎡以内に防火区画された共同住宅住戸には適用しない	200㎡以内に防火区画(特定防火設備とすること)			
			500㎡以内に防火区画(特定防火設備とすること)			
	10	地下街	100㎡以内に防火区画		壁・天井とも準不燃以上	壁・床面上1.2m以下除く
			200㎡以内に防火区画(特定防火設備とすること)			
			500㎡以内に防火区画(特定防火設備とすること)			

① 回り縁、窓台、その他これらに類するものは内装制限から除かれています。

② 法令の定めによって設けられる避難階段、特別避難階段は、下地とも不燃材で仕上げることとなります。

③ 内装制限の適用が重複してかかる場合は、法令で規定ある場合を除いては制限の厳しい方が適用されます。

④ この一覧表は概要をまとめたものですから、詳細は法令の本文を参照してください。

⑤ 都道府県では条例で独自の内装制限を定めているものもあります。各自治体に確認してください。

※1 学校、体育館、ボーリング場、スキー場、スケート場、水泳場又はスポーツ練習場。

※2 その仕上げに準ずるものとして国土交通大臣が定める方法により国土交通大臣が定める材料の組合せによってしたもの。

建築基準法に基づくシックハウス対策壁紙について

建築基準法の改正について

建築基準法の一部改正が平成15年7月1日より施行され、シックハウス対策の規定が加わりました。これは、シックハウスの原因とされる化学物質類の室内濃度低減のため、建築物に使用する建材や換気設備を規制する法律です。対象は住宅、学校、オフィス、病院等、全ての建築物の居室となります。

「居室を有する建築物は、その居室において政令で定める化学物質の発散による衛生上の支障がないよう、建築材料及び換気設備について、政令で定める技術的基準に適合するものとしなければならない。」
(建築基準法第28条の2 居室内における化学物質の発散に対する衛生上の措置)

※規制対象となる「居室」とは建築基準法上の「居室」であり、住宅、非住宅を問わず全ての建築物に適用されます。
「倉庫」「トイレ」「浴室」など常時「人の居住に供しないことが明白」なものは除外されますが、「トイレ」「廊下」が換気対策上の換気経路となっている場合は居室としてみなされます。

改正内容のポイント

■ホルムアルデヒドに関する建築材料、換気設備の規制

- ①内装仕上の制限
- ②換気設備設置の義務付け
- ③天井裏などの制限

■クロロピリホスの使用禁止

ホルムアルデヒド発散速度性能に基づく壁紙の種別区分について

ホルムアルデヒド発散速度に応じて次の4つの種別に区分されますが、告示で定める壁紙は図表の通り「JIS規格」か「大臣認定」に基づき「規制対象外」となっております。

	規制対象外 ※第1～第3種 よりも上位の 性能を備えた 建築材料	ホルムアルデヒド発散建築材料		
		第3種	第2種	第1種
ホルムアルデヒド 発散速度 (チャンバー法数値)	5 $\mu\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{h}$ 以下	5 $\mu\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{h}$ 超～ 20 $\mu\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{h}$ 以下	20 $\mu\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{h}$ 超～ 120 $\mu\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{h}$ 以下	120 $\mu\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{h}$ 超
ホルムアルデヒド 対策マーク (等級区分)	F☆☆☆☆	F☆☆☆	F☆☆	対策マーク 表示不可
壁紙の種類	JIS規格品 大臣認定品	-	-	-
内装仕上の 制限	使用制限なし	使用面積が制限される		使用禁止

1 μg (マイクログラム) : 100万分の1gの重さ。
発散速度1 $\mu\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{h}$ は、建材1 m^2 につき1時間あたり1 μg の化学物質が発散されることをいいます。

一般社団法人 日本壁装協会の 自主管理制度について

日本壁装協会では、シックハウス対策壁紙の「品質の表示」と「管理責任の範囲」を明確に取り決めた自主管理規定を構築しました。これは規定に定めた「製品情報ラベル」を表示運営することで「製造メーカーより出荷される商品(正反)」と「流通過程でカットされて販売される商品」それぞれのホルムアルデヒドの性能担保を行う自主管理制度です。なお、製品情報ラベルは、ホルムアルデヒド発散等級の確認および日本壁装協会・壁紙品質情報管理システムの登録を行った商品のみ表示することができ、「壁紙製品の包装上に貼付け」されるものです。

(1) 製品情報ラベル

主に製造メーカーより出荷される壁紙(正反)に貼付けされるもので、「JIS製品」「大臣認定品」の2つの様式があります。

(2) 大臣認定について(JIS表示ができない商品への対応)

製造が国内、海外であるにかかわらず、日本国内で販売される壁紙に関して、公的機関で試験されたホルムアルデヒド放散量データを付けて、大臣認定(国土交通省)を申請し、審査の上合格したものについて認定番号を取得し、製品に表示しています。

(3) シックハウス対策品ラベル

壁紙のカット品について、「シックハウス対策品ラベル」を出荷ラベルの横に貼付け、表示しています。

製品情報ラベル



JIS製品様式



大臣認定品様式



(青色)

シックハウス対策壁紙の 登録確認書発行について

壁紙品質情報管理システム登録確認書 (防火およびホルムアルデヒド情報の確認書)



日本壁装協会の検索システムでは、JISならびに大臣認定に関するシックハウス情報や防火の認定情報も商品番号から容易に検索でき、印刷およびダウンロードすることができます。

<http://www.wacoa.jp/Hekisou/>

Q 日本壁装協会

検索

